

錦糸町わくわく通信

2023.12

(11月10日発行)

第43号

●お問合せ●
東都よみうり新聞社
TEL.03-6663-9010

「和」で魅せる錦糸町駅北口

アルカタワーズイルミネーション

約28万球のLEDライトが錦糸町駅北口周辺に灯ります。歩道の植栽をブルーとゴールドの光が彩り、アルカキット錦糸町前の給気塔を使ったイルミネーションは、春夏秋冬をイメージした演出が見どころです。環境面にも配慮し、出力を下げるプログラム制御で使用電力量を2割程度抑えながら町並みを明るくします。

【期間】2023年11月17日(金)～2024年1月31日(水)

【点灯時間】午後5時～9時

【点灯箇所・内容】

◆アルカキット正面入口上部

「陽春」の空を舞う花々を描いた黄金色のデザイン

◆アルカキット給気塔 ステージ

「老松に初雪」「天の川」など時間差で移りゆく季節の情景を表現

◆アルカキット前(12月4日から)

ステージにクリスマスツリーを置いたフォトスポット。和柄が変化する「KINSHICHO」の文字イルミネーションにも注目



↑時間差で切り替わる給気塔イルミネーション・冬のイメージ「老松に初雪」(囲み枠の中は「天の川」)

←植栽は江戸の「青」と錦の「金」で飾る

錦糸町PARCO&楽天地

大きなモミの木のクリスマスツリー

錦糸町駅南口のクリスマスは大きなモミの生木を使ったクリスマスツリーが登場します。

11月23日に点灯式も開催し、東京楽天地とパルコから人気キャラクター「らくてんちょー」と「パルコアラ」が応援にかけつけます。

◎クリスマスツリー点灯式

【開催日時】11月23日(木) 午後5時から

【会場】1F 正面口広場

【内容】点灯式セレモニー、合唱団の歌声披露

※クリスマスツリー点灯期間

11月23日(木)～12月25日(月)



買い物に訪れた人々を迎える大きなモミの木のクリスマスツリー

すみだトリフォニーホール パイプオルガン・クリスマスコンサート

【開催日】12月10日(日)

【会場】すみだトリフォニーホール

【内容】オルガン奏者・大平健介さんとバリトン歌手・加末徹さんが大ホールのパイプオルガンの魅力を存分に引き出す演奏を繰り広げます。

◆「0歳からのオルガン・コンサート」

午前11時開演(休憩なし約45分)、1000円、未就学児無料(要座席券)

◆「じっくりじっくりオルガン・コンサート」

午後3時開演(休憩なし約60分)、1000円、未就学児入場不可(託児サービスあり)

【問い合わせ】トリフォニーホールチケットセンター ☎03-5608-1212



2023全日本ボクシング選手権大会

【開催日】11月21日(火)～26日(日)

【会場】墨田区総合体育館

【内容】公益社団法人日本ボクシング連盟主催によるアマチュアボクシングの全日本選手権。女子12階級、男子13階級で選手たちが頂点を目指します。2024年パリオリンピックにつながる世界最終予選の日本代表決定戦も兼ねています。最終日の26日はプロボクシング現役世界チャンピオンが解説で登場します。

【観覧方法】入場無料、

YouTubeチャンネルにて全試合ライブ配信、Leminoでも特別配信

※詳細は日本ボクシング連盟ホームページ (<https://jabf-revival.com/>) へ

スタートアップと墨田区内のものづくりを結びつける新空間 「墨田区産業共創施設」錦糸4丁目に登場

錦糸土木事務所跡地に新設された「ヒューリック錦糸町コラボツリー」内に10月29日、「墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE」(SIC) がオープンした。

ビルのワンフロア分を使ったスタートアップ支援の拠点として、「ものづくり」のまちとして発展してきた墨田区に成長が見込まれる事業者を呼び込み、地元の産業との結びつきを作る場となる。

普段は起業を目指す学生やスタートアップ(新興企業)、区内事業者などが主に利用するが、交流事業の一環で一般参加が可能なイベントも実施する。例えば、11月30日には、東京2020オリンピックパラリンピックの表彰台プロジェクトを手がけた平本知樹さん(株式会社wip)の話聞く「SIC Lab.File001〜リサイクルプラスチックからつくりだした東京 2020 “みんなの表彰台”〜」を開く。

「ヒューリック錦糸町コラボツリー」は、他のフロアにも気鋭のスタートアップが入居しており、宇宙デブリ解決に取り組む「アストロスケールホールディングス」、ワイヤレス給電技術の活用で業界を牽引する「エイターリンク株式会社」などは、国内外での活躍が期待されている。アストロスケール社が開設した一般見学施設「オービタリウム」(予約制)では、衛星の製造やクリーンルームの様子を見ることが出来る。

【墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE】

墨田区錦糸4-17-1 ヒューリック錦糸町 コラボツリー4階

イベント参加などの問い合わせ先 墨田区産業振興課 ☎03-5608-6186



↑横十間川の眺めが広がるフリースペースは会議室、商談スペース、作業台などが配置されている。アイデア創出につながる(かもしれない)量産きの「1上がり」もあるのがユニークだ



↑錦糸公園にも近い「ヒューリック錦糸町 コラボツリー」

特別インタビュー

墨田区長に聞いてみました！

錦糸町ってどんなまちですか？「錦元会」ってイケてますか？

10月のある日、「錦糸町を元気にする会」から代表者4名が墨田区役所を訪問し、山本亭区長と面会しました。区長がこのまちにどのような眼差しを向けているか、法人化から今年で10年を迎える「錦元会」に期待することなどを聞いてみました。

—— 山本区長にとって錦糸町とはどんなまちですか？

区長：ご存知の通り僕は62年間墨田区を離れたことがない人間で、その中でも錦糸町は子供の頃から馴染んだまちでもあり、年を経ると飲みにもいったり野球をしに行ったり、その都度年代で結構楽しんでいます。いまだにですね、いろんな商業施設に一人でぶらぶら行ってですね、ゴルフショップのおじさんに「何やってんですか」と言われたり、映画館に行こうとして山田昇(区商連)会長にばったり会って「どこ行くんですか」と驚かれたり(笑)。本当に錦糸町を満喫している区民の一人だということです。

いろいろなイベントもあるじゃないですか。そこで区長としてお邪魔するわけですけど、南口、北口と商業施設さんも協力してまちの人と本当に同じ思いで、錦元会さんを中心に非常にいろんなことをやっていたい。そこに僕が行き、また錦糸町の良さを感じる。そんなことを1年を通じてずっとやってます。自分にとっては区長としてもプライベートでもなくてはならないまち、と思っています。

—— こんなまちになって欲しいという未来像はありますか？

区長：大きくいうと、僕が区長になる前から言っていた「暮らしたいまち」「働き続けたいまち」「訪れたいまち」の代表が錦糸町みたいな気がします。これから先でいうと、より便利で人が賑わうまちにも進化するし、多様性みたいなものがしっかり表現できるまちでもあると思います。日頃から錦元会の皆さんがバトロール活動でやっていただいている安全安心みたいなところもより充実してきましたね。客引きや路上駐車の話では、なかなか協力していただけない店、ルールが守られないところもある中で、ご苦労が多いと思うけど、もう一歩頑張るとそれに応じて「まちを作っていく」「商店街をもっと元気にしよう」という割合が高まって行くような気がします。これでいいやと思うとなかなかうまくいかないけど、うまく方策を考えてさらに協力を進化

していく、そんなまちに十分なり得ると思っています。それは究極、暮らしたい、近隣の皆様も便利で住みやすいまちであり、昼間人口として集まる働く人々も働きやすい、夜は飲食店で飲んで楽しんで安全安心に帰っていただく。たくさんいいお店があるんでね。

—— 10月には錦糸4丁目に区の新施設も完成しました。今後何か一緒にできる可能性も秘めているのかな、と期待しますか？

区長：できますね。ここはね、我々もしっかり取り組んでいくので「乞うご期待」ということだと思います。ものづくり、スタートアップを応援しようという切り口です。錦糸町にあるということで、その地域の産業振興にアプローチできたいですし、墨田区総合体育館が頑張って人気が出てきているというなかで新施設もぜひお使いいただきたい。区の施設が有効に活用されるということは非常にですね、大きな目標ですね。

—— 「錦糸町を元気にする会」は、商業施設や企業の社員、個人事業主が錦糸町のまちが好きで良くしたいという思いでボランティアによる活動を展開しています。この10年で地域とのつながりも少しずつですが構築しています。今後の期待をお聞かせください。

区長：まずは独自に有志が集まって、こうやって活動してもらっていることに感謝、区政を預かる身としても非常にありがたい。大きなことじゃなくて小さなことからコツコツとみたいなのをずっと続けてこられているので、新たな課題があるとしても着実にやっていただける方々であり、それがまた新たなにぎわいを呼んだり、協力者が増えたり、究極の錦糸町をしっかりとつくっていくことができる皆さんだと、期待をしているわけですね。

皆さんがちゃんとそれぞれの事業は営んでいて、でもその人たちが輪になって協力体制が広がっていくというのも、錦元会さんの接着力というか、ちょっとした情報交換の中から出てくるアイデアや活動が我々にとってはありがたい役割を果たしていく。今後もしやそういうことが広がっていったら嬉しいですね。



約1時間にわたる会談では、錦糸町駅を中心とした南北地域の一体感醸成や文化施設などの地域資源の活用についても話題に出ました